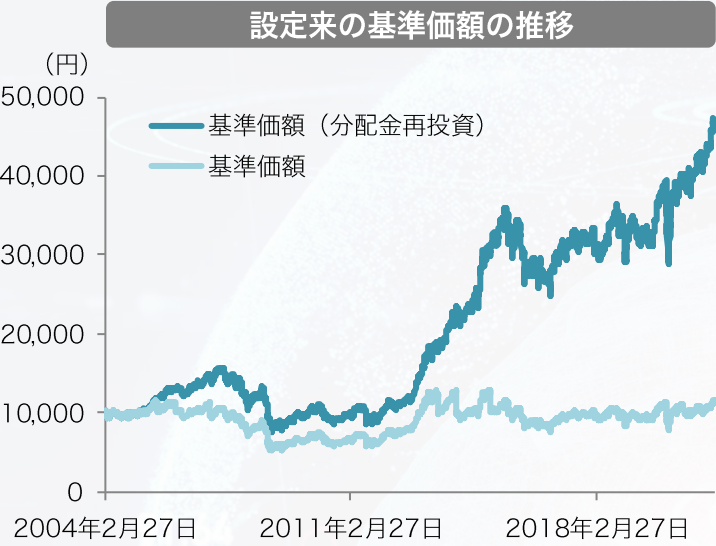


※本資料は「グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド〈愛称：健次〉」の概要について投資家のみなさまにお知らせするために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書（交付目論見書）をご確認いただく必要があります。

2021年初来の当ファンドの基準価額の推移

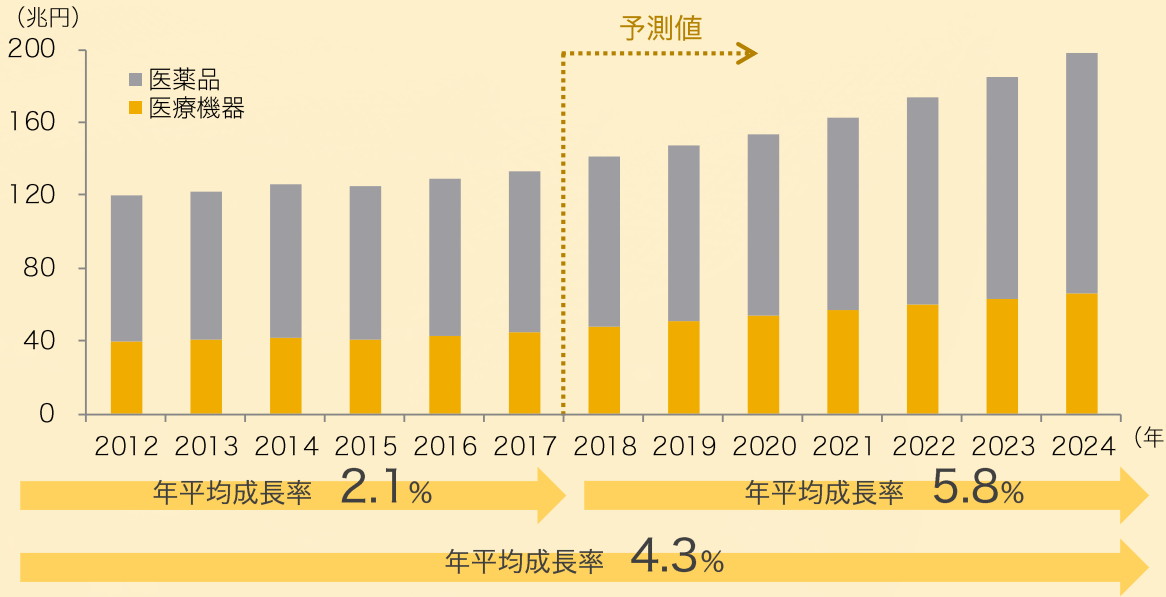
2021年初来の当ファンドの基準価額は、米国の金利上昇を背景とする株安により一時下落する局面があったものの、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）のワクチン接種進展に伴う景気回復期待や、組入銘柄企業の新薬承認等を背景として、概ね上昇基調で推移しました。当ファンドの基準価額（分配金再投資）は、2021年7月2日に設定来最高値である47,393円をつけ、2021年7月9日時点では46,720円となっています。



・期間：（左図）2004年2月27日（設定日）～2021年7月9日、（右図）2020年12月30日～2021年7月9日・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、1万口当たりであり、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。・信託報酬率は、後記のファンドの費用に記載しています。・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

世界の医薬品と医療機器の市場規模推移

世界の医薬品と医療機器の市場規模は、2012年から2017年までの年平均成長率2.1%に対し、2018年から2024年の年平均成長率は5.8%とさらなる成長が予測され、2024年には200兆円近くまで到達することが見込まれています。



・医薬品は処方薬。為替は1ドル110.58円（2021年6月30日時点）で計算。
・期間：2012年～2024年（2018年以降は予測値）、出所：EvaluatePharma「World Preview 2020, Outlook to 2026」、EvaluateMedTech「World Preview 2018, Outlook to 2024」を基に三菱UFJ国際投信作成

変わらない成長ストーリー

ヘルスケア業界の3つの成長ポイント



1 先進国の高齢化
医療の進歩等により高齢化が進み、医療支出が拡大



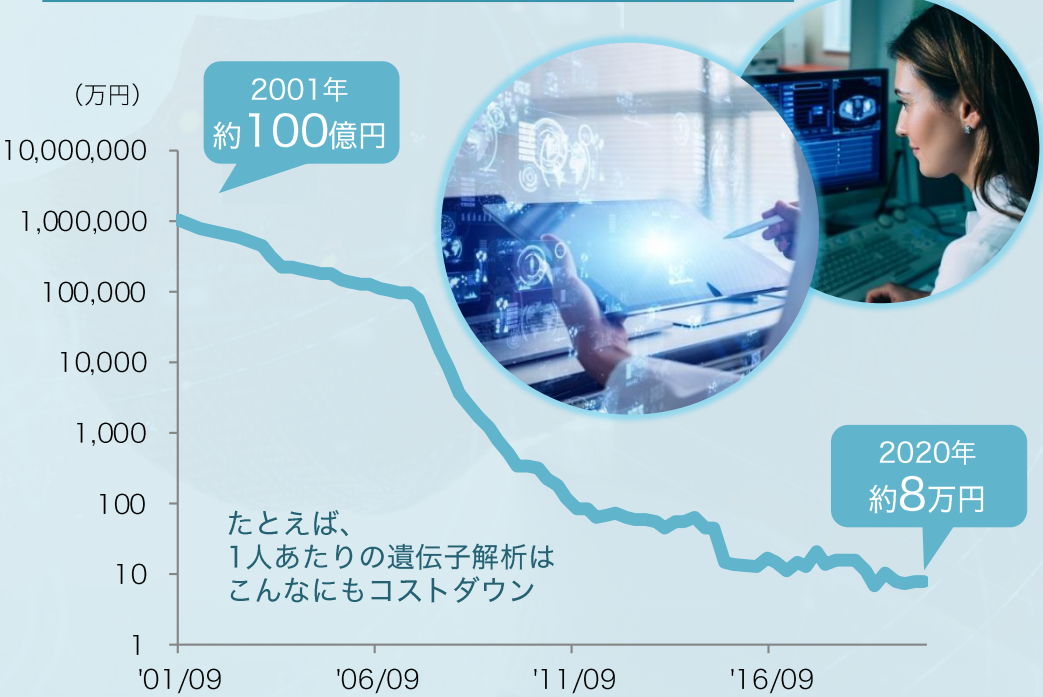
2 新興国の所得増加
経済成長に伴う所得の増加により、先進国と同様に医療支出が増加



3 バイオ医薬品の発展
バイオ医薬品の売上高は年々増加
難治療分野への展開が見込まれ、世界の医薬品売上高に占める比率も高まると予想

さらなる成長ストーリー

テクノロジーの進化が成長ドライバーに



・期間：2001年9月末～2020年8月末、3ヵ月毎（2003年10月末までは半年毎）
・為替は1ドル110.58円（2021年6月30日時点）で計算。
・出所：National Human Genome Research Instituteのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

「すでに実用化されているテクノロジー」



創薬

・AIやビッグデータの活用により、創薬が短期間で可能に
・遺伝子解析装置の進化により創薬のコストダウン



オンライン診療

・新型コロナの感染拡大の影響からデジタル化への流れが加速し、オンライン診療が普及



医療機器

・血液を採取して測定していた血糖値は、腕に装着するだけで測定ができるウェアラブルセンサーに

・上記は一例です。



手術

・難易度の高い手術を補助する手術支援ロボットが活躍
・臓器をVR（バーチャルリアリティ・仮想現実）などで再現するシステムも登場

動画で分かりやすくご説明
『商品説明動画』はこちら→

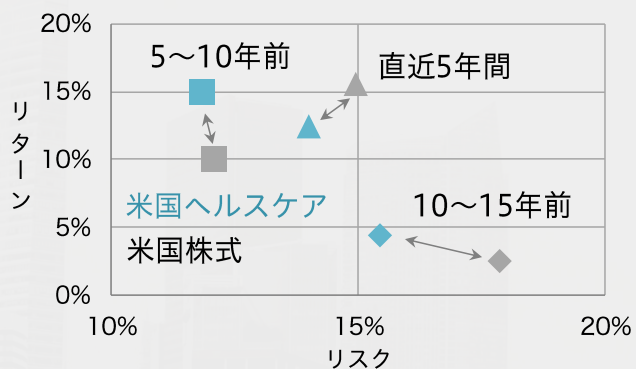
※動画は一定期間経過後に削除することがあります。



ヘルスケアセクターの傾向

■ リスクは米国株式よりも低い傾向、リターンは米国株式を上回ったことも

米国株式とヘルスケア株式のリスク・リターン



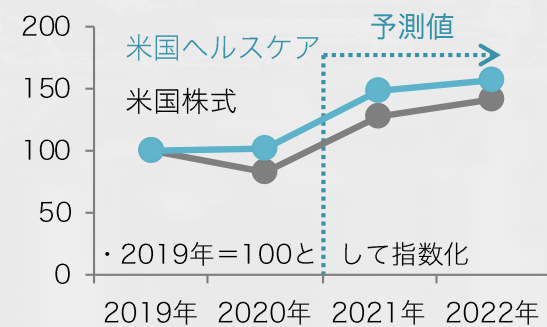
当ファンドが投資するヘルスケアセクターは生命に関わる製品やサービスを提供するセクターであり、企業収益が大きく変動しにくいと考えられることなどから、過去においては相対的に低リスクとなりました。加えて、左記のうち5～10年前と10～15年前の2期間において米国株式よりも高いリターンを獲得しました。

・出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・直近5年間（2016年6月～2021年6月）、5～10年前（2011年6月～2016年6月）、10～15年前（2006年6月～2011年6月）・リスクは各期間（月次）の騰落率を基に算出した標準偏差を年率換算して算出。リターンは月次騰落率の平均を年率換算して算出。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

■ EPSは米国株式を上回り上昇が見込まれる一方、PERは直近2年間対比で割安傾向を見込む

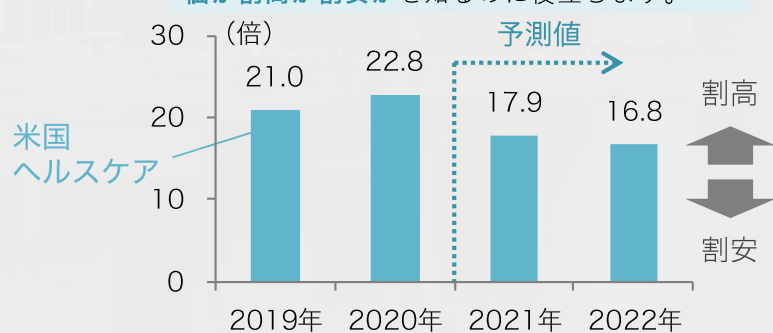
EPS

EPS（一株あたり利益）：1株に対して、最終的な稼ぎ(企業利益)がいくらあるかを表します。



PER

PER（株価収益率）：企業の稼ぎに対して、何倍まで株価が買われているのかを表し、株価が割高か割安かを知るのに役立ちます。



・出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・期間：2019年～2022年（2021年と2022年は予測値）
・2021年および2022年のEPSとPERは2021年7月21日に取得した各年末の予測値を使用。
※上記「ヘルスケアセクターの傾向」では、2021年6月30日時点で国・地域の組入第1位である米国（純資産総額の72.2%を占める）の指数を使用しています。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

ファンドの目的

信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- 世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。
◆世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業等の株式に分散投資を行います。
◆株式の組入比率は、原則として現金比率をできるだけ抑え、高位を維持します。
- 財務・収益状況（ファンダメンタルズ）の健全な企業へ長期的な割安度を重視して投資（バリュー投資）を行います。
◆新商品の開発、企業の合併・統合、政策変更等を背景としたヘルスケア・バイオ市場の変化によってもたらされる投資機会に着目します。
◆銘柄選定は、ヘルスケア・バイオ関連企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析（ファンダメンタルズ分析）に基づいて行います。企業の事業見通し、新商品の見込み、企業戦略、競争性等に重点を置いたボトムアップ・アプローチを行います。
◆外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
- 株式等の運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図に関する権限を委託します。
◆ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つです。
◆ヘルスケア・セクターでは世界最大規模のファンドの運用アドバイザーを受託しています。
- 年2回決算を行い、収益の分配を行います。
◆毎年2月27日および8月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。・委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因：基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、株価変動リスク、為替変動リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

投資対象としてのヘルスケアセクター

《PICK UP》進む医薬品開発



新型コロナウイルスのワクチン開発が想定よりも早いスピードで行われたことは、医薬品の開発力の高さを証明するものでした。新しい医薬品の開発は、新型コロナウイルスだけでなく、がん・アルツハイマー型認知症などの難治療分野においても進んでいます。

医薬品開発ニュース

▶ 新型コロナ

2021年7月8日、米ファイザー（組入第4位）と独ビオンテックは、新型コロナウイルスの変異株（デルタ株）に対応する新たなワクチンを開発中であることを発表しました。

▶ がん

2021年6月11日、第一三共（組入第17位）は、ウイルスを使ってがん細胞を攻撃する医薬品（がん治療用ウイルス）について、国内での製造販売承認（世界初）を得たと発表しました。

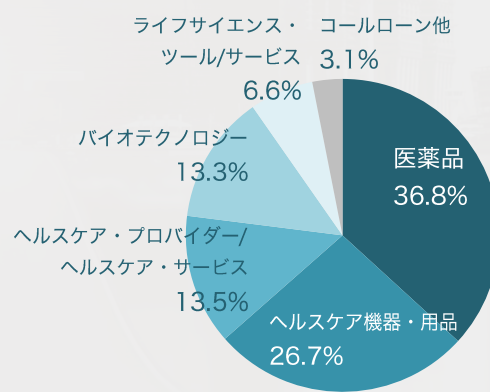
▶ アルツハイマー型認知症

2021年6月8日、米バイオジェン（組入第37位）とエーザイ（組入第11位）は、アルツハイマー病の病理に作用する世界で初めてかつ唯一の治療薬が米食品医薬品局（FDA）に迅速承認されたと発表しました。

・出所：各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成
・上記は2021年6月30日時点の組入銘柄のうち、2021年6月1日～7月9日にプレスリリースされた事例の一例を紹介したものであり、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて組み入れることを保証するものではありません。・上記は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当ファンドの運用状況（2021年6月30日時点）

《業種別組入比率》



・業種は、GICS（世界産業分類基準）の産業分類で分類。ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスには、病院・保険会社やヘルスケア・サービスの提供者が含まれます。比率は純資産総額に対する割合です。四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

《組入上位10銘柄》

組入銘柄数: 75銘柄		
銘柄	業種	比率
1 ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	6.7%
2 イーライ・リリー	医薬品	5.9%
3 アストラゼネカ	医薬品	5.3%
4 ファイザー	医薬品	5.0%
5 ノバルティス	医薬品	4.2%
6 ブリストル・マイヤーズ スクイブ	医薬品	4.1%
7 ポストン・サイエンティフィック	ヘルスケア機器・用品	3.3%
8 ダナハー	ヘルスケア機器・用品	3.3%
9 アボットラボラトリーズ	ヘルスケア機器・用品	3.2%
10 エドワーズライフサイエンス	ヘルスケア機器・用品	3.1%

ファンドの費用

【購入時手数料】購入価額に対して、**上限3.30%(税抜 3.00%)** 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。【信託財産留保額】換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**をかけた額【運用管理費用(信託報酬)】日々の純資産総額に対して、**年率2.420%(税抜 年率2.200%)**をかけた額【その他の費用・手数料】監査法人に支払われる当ファンドの監査費用/有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料/有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用/その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

【本資料で使用している指数について】 ■米国株式：S&P500 ■米国ヘルスケア：S&P500 業種指数 ヘルスケア（いずれも配当なし、米ドルベース）
・本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ（<https://www.am.mufig.jp/other/disclaimer.html>）を合わせてご確認ください。

【GICS（世界産業分類基準）について】Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

【本資料に関するご注意事項等】 ■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。 ■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 ■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。 ■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。 ■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

● 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申し込みは

販売会社は右記の三菱UFJ国際投信の照会先で
ご確認ください。

● 設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用
フリーダイヤル 0120-151034
(受付時間/営業日の9:00～17:00)

● ホームページアドレス: <https://www.am.mufig.jp/>